



## ウズマニープ・デュオ・コンサート 「ラトビアの調べ」



ラトビアの伝統的な弦楽器「クアクレ」とヴァイオリンの編成からなる日本初のラトビア伝統音楽ユニット・ウズマニープが、素朴で温かみのある音色を奏でます。

2020.10.18 (日) 19:00～ (開場 18:30)

定員 75名 (無料/申込みが必要です)

※申込み後、チケットをお渡しします。

会場 蒲生コミュニティセンター  
小ホール (蒲生図書館向かい)





## ようこそ、「歌う民」の暮らす国 ラトビアへ



自然豊かなバルト三国の一つ、ラトビア。  
四季の移ろいに沿った暮らしと 伝統文化を大切にする人々が暮らし、編み物や織物、木工品などの手工芸が盛んに行われています。また古来より、めぐる季節や年中行事など様々な事柄を歌や音楽で表現し伝えてきたことから、「歌う民」とも呼ばれています。

この度のコンサートでは、ラトビアについてのお話と素朴で心に染みる伝統音楽を味わっていただけます。

豊かなラトビアの文化を、どうぞお楽しみください。



## UZMANĪBU ウズマニーブ プロフィール

2014年結成。ラトビア共和国に伝わる伝統音楽を演奏する日本初のアンサンブル。

メンバーは、日本では珍しいラトビアの伝統楽器クアクレ奏者の溝口明子<sup>みぞぐちあきこ</sup>、アラブ音楽を中心に様々なジャンルで活躍するヴァイオリニストの秦進一<sup>はだしんいち</sup>、ケルトや北欧の音楽をメインに豊富な経験を誇るパーカッションのAkiの3名（今回のコンサートはヴァイオリンとクアクレのデュオ編成となります）。

ラトビア人の日々の暮らしの中で生まれ、伝わってきた素朴で心に沁みる民謡を奏でている。これまで駐日ラトビア共和国大使館、ラトビア政府観光局主催イベント、北欧の音楽祭などでライブを行い、ラトビア人アーティストとも共演する。2019年10月にはラトビア大統領閣下の御前演奏を行った。



お願い

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のために

- ・来場前に、体温測定をしてください。
- ・発熱がある等 体調不良の場合は、参加をご遠慮ください。
- ・マスクの着用とアルコールによる手指の消毒にご協力ください。



### 交通のご案内



近江鉄道 桜川駅より約1 km

近江バス 日八線「市子殿」より 0.5 km  
長峰線「蒲生支所前」下車すぐ

車 蒲生スマートインターチェンジ(ETC専用)より約3 km

《東近江市立蒲生図書館》

〒529-1531 滋賀県東近江市市子川原町 676

Tel : 0748-55-5701 / IP : 050-5802-8342

FAX : 0748-55-5703